

社会科 2年

学習到達度を示したルーブリック評価

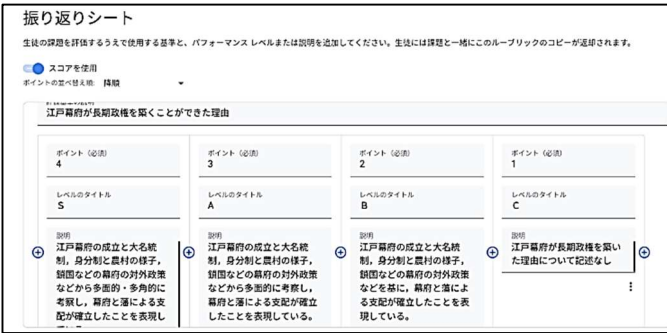

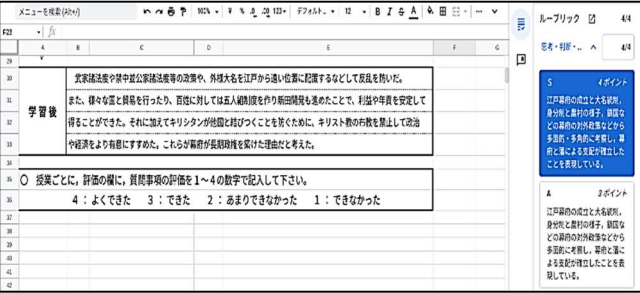
担当 阿南 幸一

【活動の目標】

C Bで振り返りシートに記述した内容をルーブリックで見取り、生徒一人一人の学習到達度を評価することができる。

【 問 い 】

・江戸幕府が長期政権を築くことができた理由を、政治・経済・対外政策の側面から考えよう。

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
<p>A 1 教材の提示</p> <p>classroom の「課題」からルーブリックを作成し、評価基準を設定する。</p> 	<p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <p>○事前準備として、classroom の「作成→授業→課題」からルーブリックを作成する。</p> <p>○ルーブリックを作成することによって、指導者がどの基準で評価しているのかを生徒に提示することができる。</p> <p>→ 生徒は、単元の評価基準を把握した上で、思考を深めながら、振り返りを行うことができる。</p>
<p>B 1 個に応じる学習</p> <p>生徒から返却された振り返りシートを基に、事前に作成したルーブリックを見て、各々評価する。</p>  	<p>各自が作成した振り返りシートを基に、ルーブリックで評価し、生徒に返却する。</p> <p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <p>○返却された振り返りシートの評価を見て、生徒は次時の授業につなげることができる。</p> <p>→ PDCA サイクルの活用。</p> <p>【改善すべき点と原因および改善案】</p> <p>・ルーブリックを基に評価ができる一方で、時間がかかるため、今後も検証が不可欠であること。</p>